

クラスの男子におっぱいを見せてあげる、女神みたいな女の子の話

私の名前は松永あかり、5年生。

最近私は性のことになんか興味を持ち始めた。きっかけは、保健の授業で習った「体の変化」の話を聞いたこと。男子と女子の体がどう違うか、なんか大人っぽい話が面白くて、頭の中でたくさん考えちゃった。性のことはよくわからなかったけど、男子の体がどうなるのか、知りたくてたまらなかった。クラスの男子が「勃起」って言葉をふざけて話してるのを聞いて、なんだかドキドキした。

初めて行動に出たのは、五月の昼休み。教室の後ろで、男子のグループがふざけてたとき、私は健太を呼び出した。健太は背が低めで、いつもニコニコしてる子。「健太、ちょっと来て？」って言って、教室の隅に連

れてった。誰も見てないのを確認して、シャツを少しめくって、おっぱいを見せた。まだ小さくて、ブラもしてなかったけど、乳首がピンクでちょっと目立ってた。健太の目がまん丸になって、「うわ、あかり、何これ！？」って叫んだ。顔が真っ赤で、声が裏返ってた。私はニヤツと笑って、「ねえ、健太、勃起した？」って小声でからかった。健太が「え、うそ、ちょっと待って！？」って慌ててるのを見て、好奇心で健太の股間を服の上から軽く揉んでみた。ズボンの下で細長くて硬い感触があって、「おお、健太、めっちゃ反応してるじゃん！」って笑った。健太は「うわ、なんなんだよ急に！」ってニヤニヤして、顔を真っ赤にしたまま興奮した目で私を見てた。私はなんか変な達成感で、胸がドキドキした。